

ふたつの人々

NO.1356
21.9.14

〇月定例会議会報告



〇月定例会議会の一般質問は2面のおおじ(〇名)かなん終わりました。今日は〇月〇日(月)の私ひめだの一般質問のこと報告します。

公契約利用した就労支援を

私、ひめだの一般質問の1つは、就労支援についてです。健康の問題をなく、させてきた事情でこれまで働いていなかった人たちが働かなければならなくなると、ハローワークや求人広告などで求職活動してもなかなか就職できず、

給付、生活保護を申請するしかなく、た人が何人かいました。働き続けたいというものの断念をよがらなければなりません。働くことに賛成してない人には助産期間といつか本格的に働くまでのための期間とする仕事があればいいと思います。

無料職業紹介事業の実施を

そのため当面はたかじんといふ仕事を市の事業から控して準備期間、指定管

職業安定法改正で、2004年の月から自治体独自の無料職業紹介事業(地方新ハローワーク)を実施する

のことができることになりました。定住促進では梨園が東が事業所で開設して定住者者に地元求人情報を直接提供いたします。大阪の豊中では、この無料職業紹介を活用し職業紹介を単なる求人への対応から、さまざまな紹介した人材の定着支援やミニセミナーを実施する事業の就労支援事業を実施す

理の方の事業に就労支援を組み合わせることをためました。

まちの、公的支援を組み合わせ

今週のフツの人々

(20302)

頭受ても中身変わらぬ

田中修博(たなかのりひろ)博士が書いた「植物のこのち」の中に「新書」で植物には分化的全能性があり、根や枝が一部でもあれば、切りの上から枝が伸びたり根が伸びるという性質を知りました。根を切り刻んでも土の中に残っておくと次々に生えてくるというのです。

スガ首相は衆院選が戦えないと、スガ首相が吹き荒れ「フツの人々

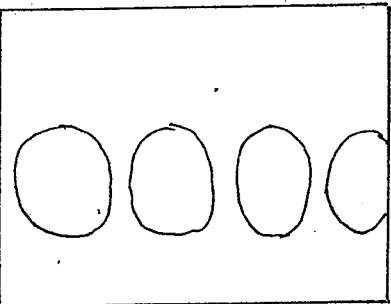
フツの人々



(1139)

頭だったはずなのにいつのまにかシッポになったみたい。これも

生き残るための伝統的な儀式だとはいわれない



今度はいんな顔に



ひめだ高広

策に専念するため自民党総裁選には出ない」と退陣表明。スガ首相は掲げた政策を確実に実行した「なご」と持ち上げ、アベ・スガ政権の問題の数々を批判もせず、自民党総裁選で候補者の単独入票を有利に垂れ流しています。アベ・スガ政権の選挙に何の期待も持っていないかもしれませんが、与野党の対決も持たないのが大仕事です。

期日前移動投票所の設置

私、ひめだの一般質問のつめは、期日前移動投票所の設置についてです。今までは、投票所に行くと投票してきただけで、投票所に行くのが難しくなってきた。投票所の階段が上がらなくなったり、投票箱を積んで運ぶのが難しくなりました。選挙管理委員会によれば、投票所の設置は、いろいろいいアイデアで、これ以上増やせないとのこと

とです。今後高齢化が進み、車や自転車に乗れなくなる人が増えるわけです。党設の投票所を増やせないのなら、全国の自治体で増えている期日前移動投票所へ、島根県田代市では、バスに投票箱を積んで送るの設置を2017年2月議会でも質問しました。この時の答弁を中心に、再度市の考えを質問してみました。

9月定例市議会-一般質問事項

順	議員名	質問事項
1	赤松良寛 (無所属)	民間企業との違いから見る本市行政の現状について
2	坂口 美子 (日本共産党)	太陽光発電事業について 生活保護行政について
3	中村あさと (日本共産党)	浸水対策について コロナ対策(業者支援)について
4	西風章世 (公明党)	市民サービス(おくやみコーナー設置)について 地域福祉と福祉教育について
5	南畑さち代 (日本共産党)	特別障害者手当について 駅及び駅周辺のバリアフリーについて
6	川端康史 (民主クラブ)	本市の職員定員適正化と働き方改革について
7	森下さち子 (日本共産党)	私道の舗装について IRカジノについて
8	井本 育一 (日本共産党)	災害対策について 水害の安全対策について
9	ひめだ高先 (日本共産党)	就労支援について 期日前移動投票所の設置について
10	古川 祐典 (自由民主党)	福祉行政(医療的ケア児支援法)について

和歌山市議会本会議の一般質問については、ホームページで録画を配信していますので、ご覧ください。

日本共産党

9・11事件から20年
2001年9月11日に米国で起きた同時多発テロから20年になります。約3千人の命を奪った憎むべき犯罪です。事件への報復として米国が始め

た戦争は世界中にテロを拡散し、罪のない人々がたたり続けています。米国がアフガニスタンで大規模な空襲を繰り返す中、駐留軍を完全撤退させるべきで、たたりは「対テロ戦争」の破たんを招きかねません。軍事力でテロはなく

絶の取り組みに生かすことが必要です。テロの根を断つためには、貧困の削減や教育の改善が不可欠です。異なる文明間での対話を進め共存を図る努力も必要です。戦争で回国を困難に陥れた米国と日本などの同盟国は、自衛隊に重大な責任を負っています。

林 武士(らりん)

9月9日、日本共産党名草南支部の林武士さんが亡くなりました。長く母校の先生をしてきた林さんは、私がかつて選挙に出たときから、選挙のたびに回覧板で知り合いのみなさんに訪ねてくれました。も恵のたまりで選挙するときは、きつて聞いてくれました。林さんは、空手の有段者で、

会うたびに「自分こそこれだけの身体があればもっと強くなれたと思う。うらやましいよ」と私にニッコク笑いかけてくれました。役者が思得をやるようなまじり、格闘技経験のない私はいつも身が縮む感じがしました。林武士さん、ありがとうございました。

